

REF*RING

こんにちは！審判インストラクターに特化したニュースレターを不定期で発行することになりました！
このニュースレターは、紙面を通して審判チームとしての「輪」を広げたく、最新のプロジェクト情報や指導者の活躍、研修の報告、そして今後のイベントなどを盛り込んだ内容にて、お届けいたします。
今後の動向を把握し、指導力ならびに分析力向上に繋げていただければ幸いです。

Topic 01 審判委員会指導者部による次世代「講師養成プログラム」が本格始動！

2024年度より、審判インストラクターの制度が若干変更となり、資格更新にあたっては、技術委員会と同じ仕組みとなる「ポイント制」が順次導入されていきます。これを機に県審判委員会としても今後、講習会の開催回数も増えていくと考え、各専門知識を持った指導者(講師)がより多く必要となってくることから「講師養成プログラム」を構築し、本格的な取り組みに着手しました。



●講師
梶山勝弘氏
2級インストラクター

関西協会主催の審判インストラクタートレセンへ2年間参加。
様々なカリキュラムを受講され、そこで得た情報・ノウハウを兵庫各地で発信中。

開催日時：2024年7月13日
会場：きしろスタジアム(明石市)
受講者：9名



Topic 02 「フィジカル」部門の講師養成

専門5分野の中の「フィジカル」にフォーカス！

適材適所に指導者を配置し、以下5部門の講師養成を行っています。

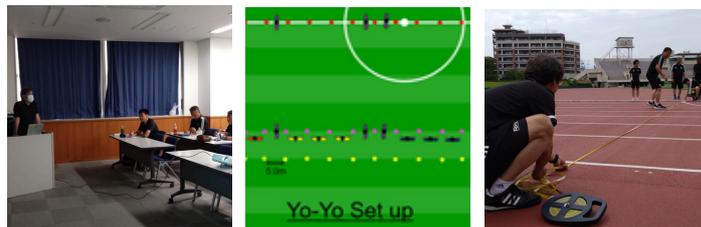
- ・チュータリング
- ・アナリシス(試合分析)
- ・**フィジカル**
- ・プラクティカル
- ・IT(情報技術)



Topic 03 座学と実技研修

公式の正確な情報を元に設営・測定する。

審判をする上でフィジカル(俊敏性・持久力・方向転換力等)の重要性と必要性を学び、会場設営ならびに実施方法、合否判定基準等の各情報を頭の中に叩き込みました。



Topic 04 会場設営と実践！

座学で習得した情報を元に実際に陸上競技場にて、会場設営(スタート/ゴール地点の見極め、距離測定、コーンの設置等)を行いました。陸上トラックのカーブ部分は**ホイール型測定器**を使用し、慎重に測定。

一番最後には、完成した走路を自分達で実際に走り、①タイム測定②走者発着点管理③記録係に分かれ、本番を見据えた実技講習となりました。

